

滋賀交通ビジョンの策定状況について

1 策定目的

平成2年に「滋賀県総合交通ネットワーク構想」を策定後、車社会のさらなる進展による地域交通の衰退、環境問題のグローバル化、北陸新幹線やリニア中央新幹線など新しい高速交通網の整備など、交通を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、滋賀の交通を総合的に再検討すべき時期に来ています。

そこで、2030年頃の滋賀の目指すべき交通の姿を展望する新しい交通基本構想として「滋賀交通ビジョン」を策定することとしました。

2 策定経過

(1) 滋賀県議会（政策・土木交通常任委員会）

- 平成23年10月 4日 滋賀交通ビジョンの策定について
- 12月15日 県民、市町との意見交換会の概要について
- 平成24年 6月13日 滋賀交通ビジョン検討の中間報告について
- 平成25年 3月11日 滋賀交通ビジョンの検討経過について
- 5月15日 平成25年度に策定予定の計画について（懇話会答申説明）
- 6月24日 滋賀交通ビジョン原案について
- 9月 9日 原案に対する意見募集結果について（滋賀交通ビジョン案説明）

(2) 滋賀交通ビジョン懇話会

- 平成23年 8月26日 滋賀交通ビジョン懇話会設置（滋賀交通ビジョン策定諮問）
以降平成25年3月にかけて懇話会計4回、分科会計9回を開催
- 平成25年 4月23日 滋賀交通ビジョン懇話会答申

(3) 県民からの意見聴取

- 平成23年11月 県民との意見交換会（県内6か所で開催、参加者数111名）
- 平成24年 1～3月 県民、事業所へのアンケート調査
- 2月22日他 経済団体との意見交換
- 平成25年 7月 県民政策コメント募集（1日から31日まで1か月間）
意見提出者数：9者（個人3、法人等6）、意見等の件数：34件

(4) 市町からの意見聴取

- 平成23年11月 市町担当課との意見交換会（県内6か所で開催、参加者数50名）
- 平成24年 7月 市町意見照会（懇話会中間報告書）
- 平成25年 3月 市町意見照会（懇話会答申原案）
- 7月 市町意見照会（滋賀交通ビジョン原案）

3 滋賀交通ビジョン（案）の概要について

別紙のとおり

滋賀交通ビジョン案の概要

1 滋賀交通ビジョンとは

滋賀県基本構想の部門別計画

「住み心地日本一の滋賀」の実現に向けて...

2030年頃の滋賀の目指すべき交通の姿を展望します

これからの総合的な交通政策のあり方を示します

2 滋賀の交通をめぐる現状と課題

滋賀は、近畿、中部、北陸の結節点に位置し、主要な広域交通基盤が集中する恵まれた交通環境にあります。鉄道、バスが県全体の公共交通網を形成していますが、駅やバス停圏外への居住者も多く、車社会の進行に伴い公共交通の利用率は低下しています。

1 基本的な課題

- 地球温暖化対策としての温室効果ガス排出量削減
- 超高齢社会到来に伴い公共交通の役割は増大
- 交通（人や物の移動手段）はあらゆる社会経済活動の基盤

低炭素型交通体系の構築
人の移動を自家用車に過度に頼った自動車中心社会の現状を改め、公共交通を中心とした環境負荷の低い交通体系に転換する必要があります

すべての人に使いやすい交通の確保
すべての県民、来訪者に使いやすくわかりやすい交通サービスの提供と、様々な交通手段を組み合わせることで円滑に移動できる交通環境の形成が必要です

交通の安定的な機能維持
事故や異常気象、自然災害による交通障害の低減、交通施設の老朽化への対応などにより交通の機能が常に適切に発揮されるようにする必要があります

こうした基本的な課題に応えつつ、地域交通、広域交通の課題を踏まえて目指すべき滋賀の交通の将来像を展望します

2 広域交通の課題

リニア中央新幹線などによる日本の高速交通体系の大変革

滋賀の発展につながる広域交通のあり方とは？

3 地域交通の課題

車社会の進行に伴う地域公共交通の衰退

県民の生活を支える地域交通をどのように維持し、活性化していくべきでしょうか？

3 滋賀の交通の将来像と交通ビジョンの基本理念

近畿、中部、北陸の「要」となって3圏域の広域的発展を牽引する **広域交通**

近畿、中部、北陸の円滑な交流や連携を牽引する交通の要の役割を發揮することで、滋賀県と3圏域全体の広域的な発展につなげていきます。

地域が支え、地域を支える、地域交通
県全域の「人、暮らし、まちを結ぶ」

地域社会を支える交通サービスを県民、交通事業者、行政が協働で支えながら、県全域にわたって生活に必要な交通手段を確保していきます。

基本理念 滋賀と周辺圏域の広域的発展と県民の暮らしを支える交通

4 滋賀の交通政策の方向性

1 広域交通政策の方向性

- ①放射状ネットワークの強化に向けた取組
- ②クロスポイントの形成に向けた取組
- ③強くしてしなやかな交通ネットワークづくり

2 地域交通政策の方向性

- ①公共交通を主体とした「エコ交通」の推進
- ②社会環境の変化に対応した持続可能な交通体系づくり
- ③まちづくりと一体となった交通の整備

5 滋賀交通ビジョン推進のための施策

1 広域交通の課題解決のための施策

①放射状ネットワークの強化に向けた取り組み

滋賀県と周辺府県とを結ぶ放射状の広域交通ネットワークを強化し、近畿、中部、北陸の3圏域間の交通アクセスを充実します。

- 北陸新幹線の整備のあり方検討
- リニア中央新幹線開業後を見据えた広域交通のあり方検討
- 道路インフラ整備の促進

②クロスポイントの形成に向けた取り組み

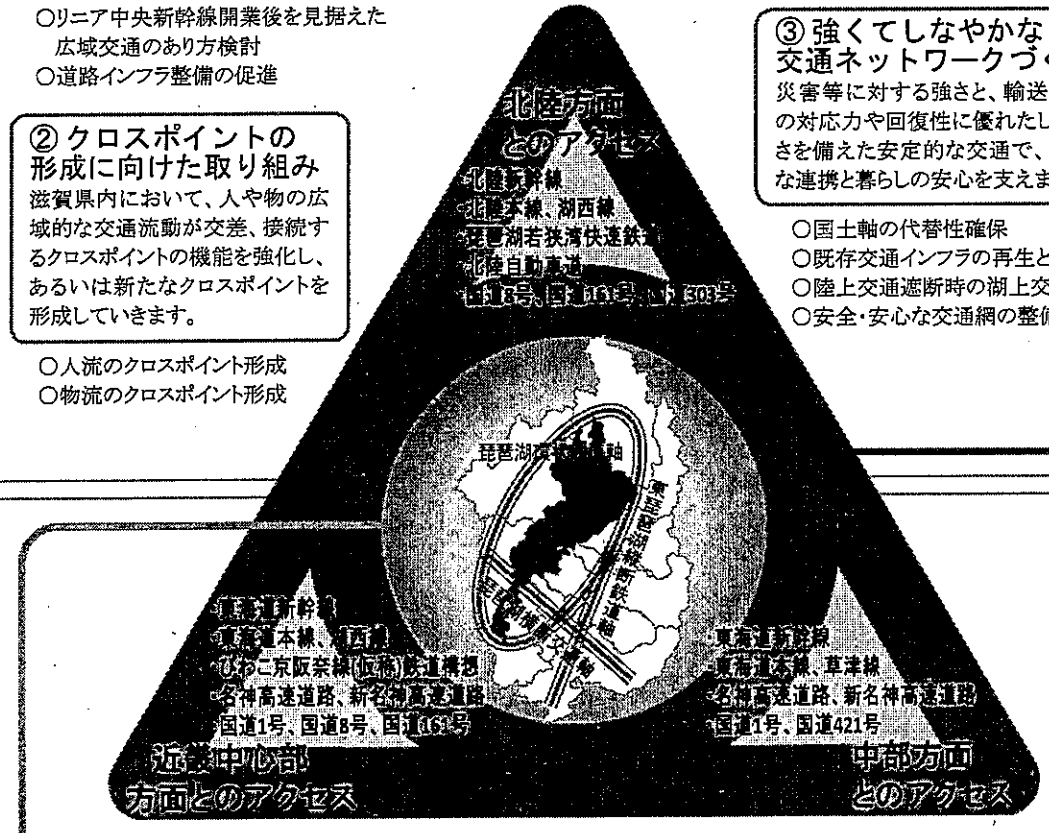
滋賀県内において、人や物の広域的な交通流動が交差、接続するクロスポイントの機能を強化し、あるいは新たなクロスポイントを形成していきます。

- 人流のクロスポイント形成
- 物流のクロスポイント形成

③強くしてしなやかな交通ネットワークづくり

災害等に対する強さと、輸送障害時の対応力や回復性に優れたしなやかさを備えた安定的な交通で、広域的な連携と暮らしの安心を支えます。

- 国土軸の代替性確保
- 既存交通インフラの再生と長寿命化
- 陸上交通遮断時の湖上交通の活用
- 安全・安心な交通網の整備



2 地域交通の課題解決のための施策

①公共交通を主体とした「エコ交通」の推進

公共交通機関をはじめ低炭素型の交通手段を利用しやすい環境整備を目指すとともに、県民が日常生活の様々な場面で公共交通利用を優先して考えるよう働きかけていきます。

- エコ交通ネットワークの形成
- 自転車を利用しやすい環境づくり
- 公共交通の利用促進と県民の意識変革
- 自動車利用のエコ化推進

②社会環境の変化に対応した持続可能な交通体系づくり

公共交通を中心に、輸送需要に応じた手法、多様な担い手の活用などにより、県全域にわたり何らかの交通手段が確保された状態を目指すとともに、関係者の連携と役割分担で地域の交通を維持していきます。

- 県全域における交通空白域の改善
- バス利用を促進する環境整備
- 関係者の役割分担による公共交通の維持
- 県民や地域コミュニティとの協働でつくる地域交通体系

③まちづくりと一体となった交通の整備

各行政分野の連携強化や県と市町の連携により、地域ごとの課題や特性に応じて、地域のまちづくりと一体となって地域交通の維持充実を図るとともに、暮らしの安心に欠かせない安全で安定的な交通網を整備していきます。

- 地域が主役の交通まちづくり
- 人と人とのふれあいを生み出す公共交通
- 安全・安心な交通網の整備

地域別施策

多岐にわたる地域ごとの課題や特性を踏まえて、地域の交通のあり方を考えていきます。

大津・高島 南部 甲賀 東近江 湖東 湖北

3 施策推進に向けて

近畿、中部、北陸の広域連携や、県民、交通事業者、行政の役割分担によって、滋賀と周辺圏域の発展を牽引する広域交通の施策、地域の交通を地域自らが支える地域交通の施策を推進します。